



ケアマネ受験対策講座 2015 を終えて

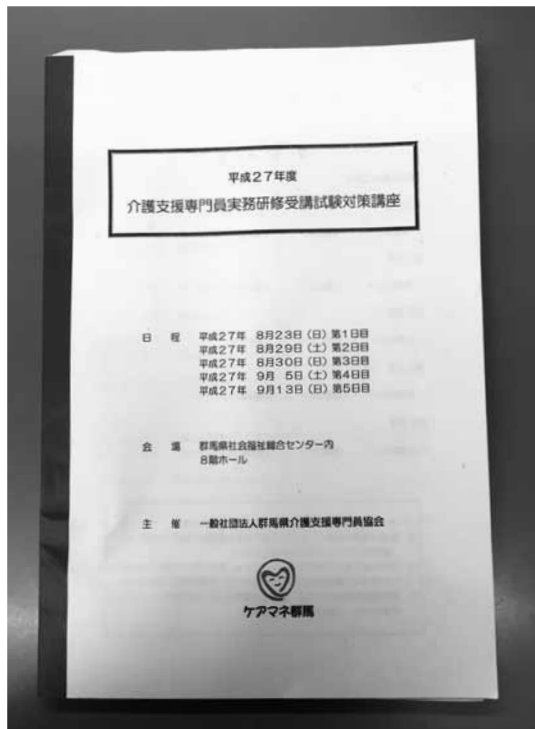
～熱心な受講生ばかりで講師も燃えました～

群馬県介護支援専門員協会 理事・学術研修委員長 菅野 圭一

8月23日から始まった、2015年度介護支援専門員実務研修受講試験対策講座（ケアマネ受験対策講座2015）が9月13日に終了しました。今年度は受講資格の改定とともに、昨年度まで認められていた「保有資格による解答免除」が廃止されたため、プログラムの大幅な変更（4日間の日程を本来は6日間に増やす必要がありましたが、実際には5日間で行いました）が必要でした。加えて、出題範囲となる介護支援専門員基本テキスト（基本テキスト）も、七訂に改訂（実際、予想以上の大幅な改定でした！）されたこともあり（それも発売は6月23日で、講座開始の2か月前と、準備期間も大幅短縮！）、

それに合わせた講座の資料（オリジナルテキスト）作成で、私たち講師は大わらわでした。そういった影響もあるのか、ふたを開けてみると、受講生は例年の半分しか集まらず…と踏んだり蹴ったりの状況でしたが、集まっていた受講生の眼の輝きを見ると、受講にけるみんなのやる気が伝わってきて、私たち講師のやる気にも火が付きました。

その甲斐あってか、終了後の受講生アンケートには、「大変ためになりました！」、「お忙しい中、わかりやすい講義をありがとうございました」といった言葉が多くみられました。特に、（例年のことではありませんが）安藤理事の講義に対する評価は高く、「安藤先生の講義と資料は私の宝になります」といった言葉がありました。これを見て、会員の皆様対象に、「初心に帰る」という意味で、一度安藤理事の講演を主に「ブラッシュアップセミナー」を開催してみようという気持ちになりました。



社会福祉法人群馬県共同募金会

赤い羽根共同募金



会報「ケアマネ群馬」は赤い羽根共同募金の助成を受けて発行されています。

第9回 日本介護支援専門員協会全国大会 in 千葉

大会テーマ

「私たちの“しんか”を考え
“共に育ち・共に生きる”
～地域を育み多職種と結び合う～
3つの想いを込めて

進化 より良い創造性を求めて

深化 さらに深める

真価 人としての価値 生きていく意味」



チーバ君

10月2日(金) 3日(土)の2日間、千葉市海浜幕張の東京ベイ幕張ホールに於いて第9回の全国大会が開催されました。前日からの爆弾低気圧の影響で首都圏は電車のダイヤが乱れる中、どうにか開催までに会場に着くことができました。参加者は、全国各地から661名が集まりました。群馬県からは、私を含めて2名の参加でした。

1日目

開会式に続いて、「平成27年度介護保険制度改正の概要」と題して厚生労働省老健局振興課辺見聡課長の基調講演が行われました。「今後の介護保険をとりまく状況」として、今後は支えられる側が増えて支える側が減っていく、いわゆる2025年問題に向けて地域包括ケアシステムの構築が不可欠であることや次期介護保険報酬改定、医療報酬の改定と医療計画の見直しについての説明がありました。

この後、「認知症の人の生活を“しんか”させるために～地域を育み多職種と結び合う～」のテーマでシンポジウムが行われました。医師、歯科医師、栄養士、薬剤師、介護支援専門員に加えて10年前にアルツハイマー型認知症と診断された佐藤さん(日本認知症ワーキンググループ共同代表)がシンポジストとして参加しました。それぞれの立場で認知症の人の生活を“しんか”させるための発言がありました。その中で佐藤さんからケアマネジャーに向けて「本人との信頼関係を築いて、希望と安心感のあるプランを作って!」というメッセージと、細井医師から、連携するにはお互いの仕事を理解すること、そして相手に求めることをきちんと伝えることが大事というお話が特に印象に残りました。



1日目 シンポジウム

この日最後は、千葉大学予防医学センター、同大学附属病院地域医療連携部長の藤田伸輔教授による記念講演「多職種連携による在宅医療・在宅生活を考える」が行われました。患者中心の医療から社会(住民)への医療へと高齢社会の本当の問題を説きながら在宅医療・在宅生活を考えていくことを、医師の立場からユーモアを交えてケアマネジャーに分かり易く説明してくださいました。

2日目

最初に研究事例発表会が行われました。5分科会でそれぞれ7人の方が日頃実践してきた成果を発表し、その後は、座長の進行で事例に対する質疑応答が行われました。私は、苦手意識がある「医療と介護の連携」をテーマとした第1分科会に参加しました。まず、7人の発表者に自分の業務をこなしながら研究してそれを発信するという労に敬意を抱きました。その中で、「延命治療をしないでほしい（救急車を呼ばないでほしい）」という明確な意向をもった利用者とその家族が、多職種の連携により、望む生活が実現できた事例」について触れます。

ケアマネジャーは、医師を交えた関係者との会議や、関係者と共に尊厳死（法律や倫理まで）についての勉強会を開催し、関係者間で納得して支援できる体制を構築、主治医の協力でその方専用の緊急時対応マニュアルを作成し通所介護サービス利用が可能になったことの報告がありました。これについて石山座長から多職種が協力して支援することはもちろん、地域でもそれらを支えられる仕組みの構築も必要という、1つ先を見据えた講評がありました。この他に、リハ職との連携で「生活行為向上リハビリ」を用いての多職種連携の利点や課題を整理した発表も興味深いものでした。

この後、分科会の全体会・演題報告会がありました。各報告に「その人が望む生活の支援」という言葉が多かったように思います。座長5人の報告からとても充実した分科会だったことが推察されました。

最後に、「今後の制度改正で問われる介護支援専門員の未来（しんか）像」と題して淑徳大学総合福祉学科 結城康博教授の教育講演がありました。先生は、現任のケアマネジャーを経験した立場で、ケアマネジャーに対して厳しくも温かみのあるお話をしてくださいました。「特に財政がより厳しくなっていく次期制度改正は報酬がマイナス改定になることが予想される。2年後の要支援1,2の方の総合事業への移行時こそ、ケアマネジメントの“しんか”が問われる。サービス利用が目的ではなくその人の生活を支援することが大事で、ケアマネジメント業務の点検、見直しが必要となる。また、昨今新聞にも掲載された居宅介護支援費の利用者1割負担についてもかなりの確率でスタートする。」と言及されていました。また、協会としてそれを阻止したければ社会を納得させられる理由をきちんと示していく必要がある等、危機迫る内容でした。

おわりに、ケアマネジャーは日々の業務も大事ですが、時々きちんと時間を取って自分たちの仕事を取り巻いている情報を整理することや自分の業務を見つめ直す等、自分自身の仕事のマネジメントもしていかなければならないことをこの二日間を通して感じました。

広報情報委員 大澤 伸子



2日目 教育講演



分科会後の全大会

賛助会員事業所様ご紹介（所在地昇順）

～目頃のご支援ご協力に、心から感謝申し上げます～

事業所名	〒	所在地	電話番号
公益社団法人地域医療振興協会 六合温泉医療センター	377-1701	吾妻郡中之条町入山 1478-5	0279-95-5711
社会福祉法人崇山会 特別養護老人ホーム サザン小川	377-0424	吾妻郡中之条町大字中之条 714-1	0279-75-7890
ケアサブライサービス	370-0102	伊勢崎市境上湊町 1131-1	0270-76-1850
エフビー介護サービス株式会社	372-0011	伊勢崎市三和町 2351	0270-50-7171
株式会社 ベルシャイン	379-2214	伊勢崎市下触町 803 番地 1	0270-62-8189
株式会社 レゾナ	372-0813	伊勢崎市葦塚町 675	0270-30-1278
有限会社 瑞花	372-0001	伊勢崎市波志江町 776-3	0270-30-5755
医療法人あづま会	379-2234	伊勢崎市東小保方町 4005-1	0270-62-3333
居宅介護支援 マセンダ	370-0521	邑楽郡大泉町住吉 54-11	0276-63-8600
社会福祉法人 千代の会 特別養護老人ホーム みどりの風	370-0727	邑楽郡千代田町瀬戸井 386	0276-86-5011
真下会計事務所	373-0852	太田市新井町 514-14	0276-45-1411
太田市薬剤師会	373-0055	太田市大島町 125-1-1	0276-47-3366
株式会社 孫の手・ぐんま	379-2304	太田市大原町 156-3	0277-46-7010
街の相談室 アンクル	373-0024	太田市上小林町 229-1	0276-25-2075
株式会社 栗原医療器械店	373-0012	太田市清原町 4-6	0276-37-8484
関東メディカル株式会社	370-0303	太田市新田小金井町 312	0276-55-6888
株式会社 ゆうあいリハビリライフケア	373-0062	太田市鳥山中町 813-13	0276-55-1118
太田市介護保険事業者協議会	373-0033	太田市西本町 68-19 花ービル 2F	0276-32-6020
医療法人ふじあく医院 介護老人施設ふじあく光荘	373-0034	太田市藤阿久町 345	0276-32-1212
社会福祉法人同仁会	373-0056	太田市八幡町 27-7	0276-55-3500
社会福祉法人 榛東村社会福祉協議会	370-3503	北群馬郡榛東村新井 507-3	0279-55-5294
東洋ケアサービス株式会社	370-3602	北群馬郡吉岡町大久保 582	0279-30-5205
桐生見える事例検討会	376-0011	桐生市相生町一丁目 220-1	0277-53-3166
社会福祉法人三和会 ヘルパーゆうあいセンター	376-0011	桐生市相生町一丁目 610-1	0277-47-6501
一般社団法人 桐生薬剤師会	376-0024	桐生市織姫町 5-50 桐生共同薬局内	0277-20-7020
医療法人 社団三思会 介護老人保健施設 クララトーホー	376-0013	桐生市広沢町 2-3208-1	0277-52-2700
桐生市医師会 居宅介護支援事業所きりゅう	376-0027	桐生市元宿町 18-2	0277-47-2506
社会福祉法人 桐生市社会福祉協議会	376-0051	桐生市新宿 3-3-19	0277-46-4165
特別養護老人ホーム 清流の郷	379-1104	渋川市赤城町敷島 44-1	0279-56-9201
ホテル天坊	377-0102	渋川市伊香保町伊香保 396 番地 2	0279-72-4489

59 事業所様のうち今回 30 事業所様を掲載させていただきました。

未掲載の事業所様は次号でご紹介させていただきます。

「理事会・各委員会の報告」

理事会

会長 大澤 誠

次年度の『ケアマネジメント群馬フォーラム』は、7月10日ニューサンピア高崎において、相原優子大会長(高麗実行委員長)のもとでの開催が決定。浅沼副会長の県社協活動推進計画策定委員会報告あり。『受験対策講座』は参加人数が少なく残念でしたが、講師の皆様ご苦勞様でした。9月4日現在の正会員数が1,000名超え達成。魅力ある協会づくりに向け邁進しています。

学術研修委員会

学術研修委員長 菅野 圭一

1面の「ケアマネ受験対策講座2015を終えて」でも書きましたが、今年は受験対策講座準備と実施にかかりきりで、それ以外はおざなりになっていました。しかし、同様に1面に書きましたが、今後会員の皆様に「初心に帰ってブラッシュアップセミナー」を企画していこうと思っています。具体的なことは、今後委員会で詰めていこうと思います。皆様、御期待下さい！

広報情報委員会

広報情報委員長 松本 勝美

広報情報委員会ではケアマネ群馬の91号、92号、93号の発行、ホームページの更新を実施しました。会員の皆様に少しでも有用な情報を提供できるよう、会議では白熱した意見交換が行われています。今年度から会報やホームページをバージョンアップしていく方向で検討を重ねています。もう少し時間は掛かりますが期待しててください。

総務財政委員会

総務財政委員長 高橋 正彦

今年度から就任した大澤 誠会長の施政方針として、財政の健全化、組織率の向上、執行部の若返りという三本柱が掲げられています。その一つ「若返り」を主眼として、現在理事の中でも若手の須田理事、岡島理事を中心に、比較的若年層の会員たちで勉強会を立ち上げて頑張っています。何を持って「若い」とするのは曖昧なところですが、～群馬県介護支援専門員協会の10年後を見据えて～というのが一つのテーマとなっています。我こそはと思う若手会員の皆様、ぜひぜひ勉強会への参加に名乗りを上げてくださいませ。

高崎安中支部

秋の長雨が続くなか、久しぶりに晴天となった9月5日の午後、安中市文化センターにおいて平成27年度、第2回高崎安中支部研修会が開催されました。

高崎安中支部研修会ではおなじみとなりました西毛病院事務次長であり、日本コーチ協会認定コーチでもある大石 尚 氏をお招きし、会議やグループワークをどのように進めてゆくか。充実し、納得のできる会議を進めるにはどうしたらよいか。『対話力を高めるポイント』というテーマでの研修となりました。

当日は約80名の参加者が12グループに分かれ、総合事業についてディスカッションしながら会議進行上での要点の講義、解説に併せワークを通じて理解を深める事のできる内容で、会議の場を温め安心な場を作ること。目的や目標など場のデザインを参加者同士が共有すること。合意形成のためには葛藤が必要であり、葛藤から合意形成に至るには各メンバーが思いを十分に発散することが大切。など、普段の会議やカンファレンスの場面ではあまり意識していなかった事を学ぶ事ができ、今後の実践にも活かせる充実した研修会でした。このような実践的な研修を通じ、ケアマネとしてのスキルアップをしてゆきたいと思います。

(のどの荘 原野 正嗣)



渋川支部

都道府県医療介護連携調整実証事業

渋川地区医療介護連携調整 病院・ケアマネ合同会議の報告



病院から退院時に介護保険新規利用対象者であるにもかかわらず、ケアマネ等に繋がらず、在宅にて本人の状態が悪化してから介護保険利用になるケースがあります。退院時から切れ目ない対応をすることで、在宅生活をより自立して送れるようにするための退院ルールを二次医療圏で作るモデル事業を渋川圏域で行っています。居宅介護支援事業所のケアマネ全員アンケートから3回の会合で、新規利用者が切れ目なく在宅生活を支援するための条件案を作成し合同会議の代表者の会合1回を経て、10月8日に第一回の病院・ケアマネの合同会議が行われました。双方の現状や疑問点をグループワークで話し合いお互いに出た意見を持ち帰り再検討していきます。合同会議は全3回の予定です。

(清流の郷 村上 忠明)

伊勢崎支部

10月14日(水)伊勢崎市文化会館にて、ケアマネジャーと民生児童員との連携をテーマとした研修が開催されました。

研修内容は前半に伊勢崎市介護保険課職員による「平成27年度介護保険制度改正の内容」についてのご説明と、伊勢崎佐波ケアマネジャーの会会長による「介護保険制度におけるケアマネジャーの役割について」講演があり、後半では、市内11圏域に分かれてケアマネジャーと民生児童委員との意見交換が行われました。

2025年に向け、地域包括ケアシステム構築の一端を担うケアマネジャーは、地域の公的な役割としての民生児童委員との連携がシステム構築の鍵となることを学び、顔の見える関係作りの大切さを実感することができました。

(ケアマネジメントセンターおおいど 竹田 靖子)



多野藤岡支部



10月16日(金)藤岡市役所中庁舎にて第2回支部研修会(事例検討会)が開催されました。今回は居宅介護支援事業所老人保健施設鬼石の介護支援専門員清水充氏のご協力のもと『高次脳機能障害の社会生活支援』という内容で適応障害を抱えたご本人とリウマチを患った介護者というケースでした。

多数の事業所があるなか介護支援専門員としてご本人、ご家族のニーズに合ったサービスにつなげるためにはどうすれば良いのか、改めて考えるきっかけとなりました。また、ご本人の意欲を活かす環境作りの重要性を感じました。事例を通してグループごとに活発な意見交換を行い、様々な考え方や対応方法について学ぶことができ大変有意義な検討会でした。自らの支援のありかたについて見つめ直し今後の業務に役立てたいと思いました。

(居宅介護支援事業所ふじの里 高橋 勇人)

お知らせ

群馬県介護支援専門員協会会長 大澤 誠

地域包括ケアシステムの確立が各地域において焦眉の急となっていますが、なかなかその姿をイメージすることが出来ません。全国では先進地域があり、その紹介がされていますが、それを自分たちの地域に当てはめようとしてもピンと来ない。

そこで、地域包括ケアの理論家で一橋大学の社会学者である猪飼周平さんと、在宅医療の実践家で全国在宅療養支援診療所連絡会の事務局長である太田秀樹さんの対談を企画しました。市民・介護支援専門員（ケアマネジャー）・医師・行政職等にとって、今一度自分たちにとっての『地域包括ケアシステム』のあり方を見つめ直す良い機会であると思います。是非、多くの方々にご参加くださいますよう、ご案内いたします。

「太田秀樹・猪飼周平対談：地域包括ケアを考える集い」

（群馬県介護支援専門員協会・群馬県医師会・群馬県在宅療養支援診療所連絡会 共催予定）

日 時：平成28年2月6日、18：00～20：00

開催場所：高崎シティギャラリー・コアホール

高崎市高松町35番地1 Tel.027-328-5050

事務局からのお願いとお知らせ

会員の方への会報送付について

会員の皆さまには会費納入のご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて本会では会員の皆様に会報や研修会のご案内をお送りしております。このご案内につきまして、次号より平成27年度会費を納入された方のみに限定させていただきます。尚、以後より会費納入の確認ができ次第お送りする予定です。

会費納入について

平成27年度会費について、まだお振込がお済みでない方は、下記口座にお振り込み下さい。本会は会員の皆様の会費で運営しております。

より良い会を目指して理事・支部長・委員会委員等頑張っております。是非ご協力の程よろしく願いいたします。

会費振込先

取扱銀行：ゆうちょ銀行 口座番号：00540-0-63399

口座名：一般社団法人群馬県介護支援専門員協会

*** 他金融機関からの振込用口座番号 ***

〇五九（ゼロゴキユウ）店（059）当座 0063399

金 額

- 1 一般社団法人群馬県介護支援専門員協会会費 4,000円
- 2 日本介護支援専門員協会&群馬県介護支援専門員協会会費 9,000円
- 3 賛助会員 1口5,000円を2口以上でお願いいたします。

*いずれも継続会員様の年会費金額です。

新規入会をご希望の方は本会事務局にお問い合わせください。

一社）群馬県介護支援専門員協会事務局（群馬県社会福祉協議会 地域福祉課内）

TEL 027-255-6226 FAX 027-255-6444 事務担当 新井

編集 後記

広報情報委員会で11月1日号の内容検討をした時は「11月号はネタの少ないハザマの時期」と皆さん頭を悩ませていました。それが、いざ原稿が集まってくるとハザマどころか、その内容の豊かさ・質の高さに驚きました。意識の高い集団って、いいですね。(KR)